

資料①

平成 29 年度

第 1 回松戸市地域自立支援協議会 資料

平成 29 年 8 月 4 日（金） 14:00～16:00

松戸市役所 新館 7 階 大会議室

平成29年度 松戸市地域自立支援協議会 地域生活支援部会

【活動目的】

- ① 障害者が住み慣れた地域で、自分らしく住み続けるための支援体制の確立
- ② 障害者が可能な限り、本人の望む地域で、他の人々と共生し、生活できるための支援体制の確立

【活動内容】

- ① 地域で家族や、パートナー、一人での暮らしを支えるサービスとして、居宅介護等の社会資源の整理
- ② 社会資源に関する現状と課題の整理
- ③ 障害者の災害対策に関するイベントの実施
- ④ 地域拠点事業整備に向けた協議
- ⑤ 平成30年度、障害者総合支援法の見直しに向けたアンケートの実施
- ⑥ 障害者ヘルパー事業所連絡会

【平成29年度前期の主な活動実績】

日程	会場	内容
第1回 4/13	松戸市役所新館 9階会議室	(1) 部会長、副部会長選出 役割決め (2) 今年度の活動内容について話し合い (3) 研修について担当ごとに話し合い
第2回 5/11	松戸市役所新館 8階会議室	(1) 拠点検討会について報告 (2) 危機管理課職員より「障害者の災害対策について」研修 (3) 研修について担当ごとに話し合い
第3回 6/8	〃	(1) 拠点検討会について報告 (2) 研修について担当ごとに話し合い
第4回 7/14	〃	(1) 拠点検討会について報告 (2) 自立支援協議会本会議資料の確認 (3) 研修について担当ごとに話し合い

【成果】

- ① 「障害者ヘルパー事業所連絡会」について

地域生活支援部会では、昨年ヘルパー事業所間による連絡会議の必要性について検討してきました。連絡会議が主催した研修を行うことができないかアンケート調査を行い、いくつかの事業所には聞き取りも行いました。その結果、障害者に特化したヘルパー事業所の横のつながりがほしいという意見があがったため、昨年は、「第1回障害者ヘルパー事業所連絡会」を開催し、事業所の交流や事例の検討を行いました。今年度は下記のとおり「第2回障害者ヘルパー事業所連絡会」を開催し、自主的かつ継続的に行われる連絡会議が作られるようにサポートしていくことを目指しています。

第2回ヘルパー事業所連絡会について

目的：事業所同士で連携して、研修や交流会、現状や課題等を持ち寄り、共に検討し解決していくための連絡会議をつくるため

日時：平成29年7月25日（火）10：00～12：00

場所：基幹相談支援センターCoCo

内容：自己紹介

事例検討（グループワーク）

採用と研修について（グループワーク）

② 「障害者の災害対策」について

5月11日の部会では、危機管理課の職員を講師に招き「障害者の災害対策」について研修を行いました。今後も災害時の松戸市の対策について勉強し、11月に行われる松戸市総合防災訓練の中で研修会の開催を予定しています。多くの方に災害対策を考える時に障害者の存在と視点を持った、対策の知識や重要性について知ってもらいたいと考えています。今後も危機管理課職員に話し合いに参加してもらいながら連携を取り、イベントに向けて企画を行っていく予定です。

③ 地域生活支援拠点整備事業について

地域生活支援部会では、昨年度から地域拠点事業についての勉強会を行ってきました。今年度は地域生活支援拠点整備事業に関する検討会が定期的開催されることとなり、今年度も引き続き部会内でも拠点についての勉強や情報の共有を行いました。

【課題】

地域生活支援部会では、昨年度は課題として、ヘルパー事業所のネットワークづくり、福祉の狭間となった人の問題、支援者の人材不足とスキル不足の問題、他の部会との連携を掲げてきました。

昨年度の最後の報告にあった「防災という視点」を今年度は全面的に出していき、危機管理課と共に障害者の災害対策について、広く知ってもらう活動をしていきたいと思っています。

- ① ヘルパー事業所のネットワークづくりでは、第2回のヘルパー事業所連絡会を開催しました。ヘルパーのネットワークができ、事業所間で困難事例の共有や研修が行われていけば、スキルアップにもつながるのではと話し合い、今後連絡会を続けていくため、事務局機能をどこに持たせればよいかなどを部会として意見をまとめていきたいと思っています。
- ② 福祉の狭間となった人の問題では、昨年までは「居住研修会」という名称で研修を行ってきましたが、災害対策という視点から、イベントの中で障害を持つ方を含めた災害対策について関心を持っていただけるよう取り組みを行っていきます。
- ③ 支援者の人材不足とスキル不足の問題については、①のヘルパー事業所のネットワ

ークだけではなく、福祉サービスの事業所のネットワークも必要な問題だとは思いますが。地域拠点事業を進めていくうえでも事業所の連携の必要性が重要となるので、今後も話し合いを継続していきたいと思えます。

【今後の主な活動予定】

- 10月頃 アンケート発送予定
- 11月頃 障害者の災害対策に関する研修（防災イベントへの参加）
- 12月頃 アンケートの結果の考察
- 1月頃 ヘルパー掘り起こし研修（仮）を予定
- 3月頃 次年度の活動計画

平成29年度 松戸市地域自立支援協議会 相談支援部会

【活動目的】

1. 計画相談の作成率及び質の向上を目的に、平成28年度に拡充した松戸市の相談支援体制の役割を共有し、事業評価していくことで支援体制を強化する。
2. 障害ある当事者やその家族が生活に必要なとする支援について検討する。

【活動内容】

1. 相談支援専門員スキルアップ研修の実施
2. 相談支援体制の役割を強化し、事業を評価していく
3. 相談支援ガイド作成の検討
4. 地域生活支援拠点の整備への協力と連携
5. 松戸市障害福祉計画作成を見据えた市内のニーズの把握と、必要な事業や資源の創設

【平成29年度活動実績】

(1) 会議開催

会場：ふれあい22

日程	内容
第1回 4月6日(木)	① 29年度活動計画 ② 相談支援ガイド ③ 地域生活支援拠点(キーワードの定義)
第2回 4月26日(木)	① 相談支援ガイド(作成スケジュール) ② 地域生活支援拠点(緊急対応アンケート案) ③ 研修の企画(包括を交えた勉強会、こんさぽと連携)
第3回 6月1日(木)	① 地域生活支援拠点(緊急対応アンケート結果共有) ② 介護保険と障害福祉の連携を目指した勉強会実施
第4回 7月6日(木)	① 委託相談支援事業所の事業評価結果 ② 自立支援協議会本会議資料の確認 ③ 相談支援ガイド(配布先) ④ 地域生活支援拠点検討会の報告 ⑤ 研修の企画(スキルアップ研修、発達障害についての研修等)

(2) 研修

- ・介護保険と障害福祉の連携を目指した勉強会

(相談支援部会内部研修)

日時：平成29年6月1日(木) 15:30~16:30

場所：ふれあい22 創作活動室1

参加者：地域包括支援センター(新松戸、六実・六高台、松飛台・五香)、
相談支援部会員

【成果】

- (1) 地域包括支援センターを交えた勉強会を行い、障害福祉から介護分野へアプローチできそうな点を見つけました。連携が進むことで、介護分野でも計画相談を受け入れるきっかけになるのではないかと考えています。
- (2) 地域生活支援拠点について、緊急対応した件数のアンケートを実施しました。67事業所中、47事業所から回答がありました。結果を今後の検討資料として活用していきます。

【課題】

- (1) 相談支援ガイドの作成案について、今後関係機関・関係者から意見をいただき、改良・改善を加えていく。
※別添資料参照「松戸市障害のある方の相談ガイド（案）」
- (2) 障害者本人だけでなく、その両親や子どもといった世帯丸ごとの支援を行う視点の必要性を明確にしていく。

【活動目的】

松戸市における障害者の工賃向上、障害者の雇用の確保を実現するための、課題解決に向け専門的に検討し、障害者等への支援体制の整備を図る。

【活動内容】

①障害者就労施設等における工賃向上

ア. 「平成 29 年度障害者就労施設等における利用者の工賃状況等調査」の実施
(障害福祉課と共同)

イ. インターネットプレスリリースでの広報・啓発

- ・平成27年6月より松戸市立福祉医療センター東松戸病院の売店で市内の障害者施設で作られた商品の販売を開始し、2周年を迎えた。障害者施設の活動を理解して頂く機会として、リニューアルオープン2周年フェアを行うことを広報した。また、売店では年間120万円強の売り上げがあり、工賃向上につながっている。

②障害者雇用の拡大：企業に対して障害者の啓蒙・PR、職場定着支援

ア. 就業支援者向けスキルアップセミナー（障害福祉課主催）への参加協力

日 時 平成29年 7月 8日（土）10:00 から 16:30(参加者36名)

平成29年 7月29日（土）10:00 から 16:20(参加予定者19名)

場 所 松戸市女性センターゆうまつど ホール

対象者 障害者就労施設等及び特別支援学校の職員、医療関係の就労支援担当

イ. 企業向け雇用セミナーの開催

- ・ハローワーク松戸管内の柏市、流山市、我孫子市、松戸市の4市共催で開催予定
- ・企業向け障害者雇用セミナー準備会を発足し、月1回会議を開催

日 時 平成30年 2月16日（金）

場 所 松戸市民会館

対象者 ハローワーク松戸管内 50名以上雇用している企業
(柏市、流山市、我孫子市、松戸市)

③その他

「平成29年度障害者就労施設等事業所ガイドブック」の作成
特別支援学校の生徒などが施設選びで活用できる情報誌

【平成29年度前期の主な活動実績】

日 程	会 場	内 容
第1回 4/12	松戸市役所	① 松戸市の障害福祉概況等の情報共有 ② 平成29年度部会活動内容検討
第2回 5/10	松戸市役所	① 平成29年度年間計画作成 ② 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
第3回 6/14	松戸市役所	① 障害者雇用セミナーの内容について検討 ② 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
7/8	ゆうまつど	障害者の「働く」を支えるスキルアップセミナー（1日目）
第4回	松戸市役所	① 工賃状況調査結果報告及び工賃向上策の具体案検討

7/13		② 障害者雇用セミナー内容について検討 ③ 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
7/21	柏市役所	第 1 回企業向け障害者雇用セミナー準備会
7/29	ゆうまつど	障害者の「働く」を支えるスキルアップセミナー（2 日目）

【成果】

- (1) 「平成 29 年度障害者就労施設等における利用者の工賃状況等調査」の実施（障害福祉課と共同） ※参考資料参照
調査において、工賃向上を図る上での課題として、官公民需の発注が少ないことや生産する側の人手不足、販売場所が限定されていることなどが挙げられています。
- (2) 障害者の「働く」を支えるスキルアップセミナーへの参加協力
就業支援者の支援における視点と技術に関するスキルアップを行い、一人でも多くの障害者雇用を促進するとともに、定着を図ることを目的に、平成28年度から松戸市が主催で開催しています。今年度は傾聴研修を新たに加え、話すこと、聴くことの関連、傾聴意識の持ち方、具体的な手法を学び、人間関係の作り方、情報収集の技法を習得できる研修となっています。
- (3) 4 市共催の企業向け障害者雇用セミナー準備会を発足し、月 1 回会議を開催しています。

【課題】

平成28年度における民間企業の障害者雇用率は、全国では 1.92%、千葉県では 1.86%、松戸市は 1.62%と低くなっております。

松戸市における障害者雇用率、法定雇用率達成企業の割合を上げ、障害者の雇用の確保を実現するために、企業に啓蒙・PR、職場定着支援のための施策を実施することにより障害者雇用に対する理解促進を深めることが課題となっております。

1. 国及び千葉県の平均月額工賃

(1) 国平均月額工賃実績

	平成 18 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
就労継続支援 A 型	113,077 円	66,421 円	67,795 円	
就労継続支援 B 型	12,222 円	14,838 円	15,033 円	

2) 千葉県平均月額工賃実績

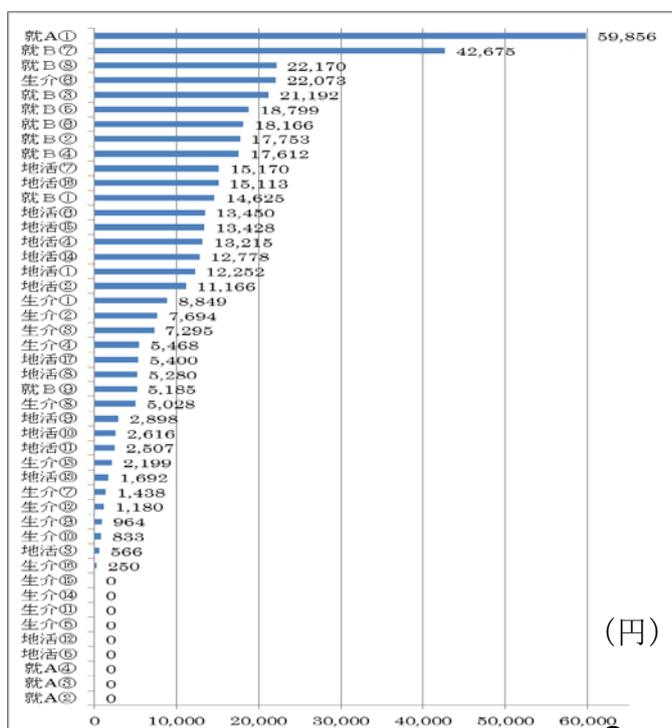
	平成 18 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
就労継続支援 A 型	10,903 円	63,119 円	64,760 円	
就労継続支援 B 型	12,024 円	13,150 円	13,660 円	

2. 本市の平均月額工賃

月額平均賃金・工賃	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (目標)
就労継続支援 A 型	60,421 円	54,368 円	41,605 円	48,088 円
就労継続支援 B 型	16,977 円	17,689 円	19,170 円	20,174 円
地域活動支援センター	4,288 円	4,056 円	5,469 円	5,073 円
生活介護	1,444 円	2,605 円	3,056 円	3,330 円

月額平均工賃最高額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
就労継続支援 A 型	60,421 円	54,368 円	60,000 円
就労継続支援 B 型	22,343 円	41,006 円	42,675 円
地域活動支援センター	18,314 円	16,887 円	15,170 円
生活介護	6,230 円	8,879 円	8,849 円

◎平成 28 年度平均月額工賃分布等



現在、障害者就労施設等において、1,295 人の登録者がおり、約 875 人が生産活動等に伴う工賃の支払いを受けています。

平成 28 年度の各事業所の平均月額工賃は就 A が 41,605 円、就 B が 19,170 円・地活が 5,469 円・生活介護が 3,056 円となっています。



【出典：松戸市工賃状況等調査】

平成29年度 松戸市地域自立支援協議会 権利擁護部会

【活動目的】

障害者の虐待防止、養護者に対する支援や権利擁護に関する課題等について、情報提供や関係機関等の連携を図るとともに、課題解決に向けて専門的に検討し、障害者等への支援体制の整備を図る。

【活動内容】

1. 市の障害者虐待の対応・終結過程に関する報告と検証
2. 障害者虐待防止及び権利擁護等を図るための課題整理や検討を行い、具体的な方法を考案し実施する。
3. 障害者虐待防止・権利擁護に関する研修や啓発の企画実施
4. 障害者差別解消支援地域協議会との連携・情報共有

【平成29年度前期活動実績】

会議開催（毎月1回開催）

	日程	会場	内容	予定
1	4月28日(金) 15:00～ 17:00	新館9階 会議室	① 地域自立支援協議会の位置づけ及び権利擁護部会の目的・内容の確認 ② 役割分担 ③ 年間計画について ④ 「成年後見制度利用促進計画」について神保先生より説明 ⑤ 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証	
2	5月26日(金) 15:00～ 17:00	新館9階 会議室	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 研修予定について	
3	6月23日(金) 15:00～ 17:00	新館9階 会議室	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 虐待防止研修会(従事者向け)について	
4	7月28日(金) 15:00～ 17:00	新館9階 会議室	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 虐待防止研修会(従事者向け)について	

【成果】

(1) 障害者虐待の対応・終結過程に関する報告と検証

H29年4月時点において、26年度からの継続件数は15件、29年度の新規受理件数は6月末現在11件となっており、これらについての報告を随時行っている。

委員より各分野の専門的な意見をもらうことにより、初期対応から終結に至るまでの一連

の流れについて多角的な視点からの検証が可能となっている。また、4月より、事例シートの改善と、進行の方法の見直しを行った。委員には事前に検討事例を共有することとし、短時間でより密度の濃い意見交換ができるようになっている。

（２） 予防・啓発活動

10/19には従事者向け虐待防止研修を企画しており、今回は弁護士による障害者の権利擁護に関する法律についての講義とグループワークを企画している。従事者が、実際に虐待が疑われる場面に遭遇した際に、「勇気を持って」通報・報告等の行動ができるようになるための機会としたい。

市民向けの講演会については、今年度は障害者差別解消支援地域協議会と合同での実施を検討している。差別や虐待といった権利侵害を防いでいくためには、偏見をなくし、予防的な観点からも、福祉従事者のみならず、地域住民に高く関心を持ってもらえるよう啓発していきたい。

【課題】

（１） 居室の確保

27年度、28年度と連続し「やむを得ない事由による措置」として障害者を養護者から保護・分離する事案が発生している。

対応の中で、居室の確保の重要性が浮き彫りになっており、中には施設間の移動を繰り返すことになったケースも存在している。

平成29年度の課題として、居室の確保について、障害福祉の他事業との連携や、児童・高齢者施設等の他業種との連携が可能か、模索していく必要があると考えられる。

それに関連して、地域生活支援拠点プロジェクトに権利擁護部会の委員が参加することになり、慢性的な受け皿不足の解消に向け、権利擁護部会としても協力・検討していきたい。

（２） 医療との連携

虐待事例の検証や通報時の事実確認に際し、医療の専門知識がある医師等に協力を仰ぐことができれば、今まで以上に多角的な視点からの検証が可能となってくる。また、対応が困難な事例について医療の観点からの見解を伺うことで、福祉と医療との連携強化に繋がるため、協力・連携体制の構築について検討していく必要があると考えられる。

平成29年度 松戸市地域自立支援協議会 こども部会

【活動目的】

- ① 障害のあるこどもとその家族の「相談と支援」について、現状と課題の共有
- ② 障害のあるこどもとその家族が安心して生活するために必要な「支援」についての検討

【活動内容】

- ① 早期相談支援事業についての検討
 - ア 早期相談支援に関わる事業所の把握
 - イ 「早期相談支援リーフレット」作成の検討
- ② 放課後等デイサービス事業所についての内容検討
 - ア 事業所向け研修
 - イ 放課後等デイサービス及び児童発達支援事業所ガイドブック作成の検討
- ③ 障害児の地域交流
 - ア 松戸子育てフェスティバルへの参加（2月）

【平成29年度活動実績】

日 程	会 場	内 容
第1回 4/20	ふれあい22	① 委員自己紹介 ② 今年度活動内容討議 ③ ハートオン相談室、基幹相談支援センターの役割確認
第2回 5/25	ふれあい22	① 障害児計画の策定についてアンケート調査意見聴取 ② 親子すこやか、教育研究所、松戸特別支援学校の事業内容の確認
第3回 6/22	ふれあい22	① 特別支援教育コーディネーターの役割について確認 ② 早期相談支援マップの叩き台配布 ③ 事業所ガイドブックのフォーマットの確認 （6月23日、各事業所へメールにて送付済） ④ 放課後等デイサービス研修について内容検討 ⑤ 松戸子育てフェスティバルへのこども部会としての参加の仕方について確認
第4回 7/20	ふれあい22	① 早期相談支援マップの叩き台の検討・確認 ② 放課後等デイサービス研修会の日程・内容確認 ③ 松戸子育てフェスティバル実行委員会報告
第5回 8/24	ふれあい22	① 早期相談各事業所の事業内容の確認 ② 放課後等デイサービス研修会チラシ叩き台 ③ 事業所ガイドブック内容確認（10月上旬完成予定） ④ 松戸子育てフェスティバル進行状況の確認

第6回 10/26	ふれあい22	① 早期相談支援事業所の事業内容の確認 ② 放課後等デイサービス研修会アンケート作成 ③ 松戸子育てフェスティバル進行状況確認
第7回 11/30	ふれあい22	① 早期相談支援マップの内容検討 ② 放課後等デイサービス研修会進行打ち合わせ ③ 松戸子育てフェスティバル進行状況確認
第8回 12/22	ふれあい22	① 早期相談支援リーフレットの叩き台検討 ② 放課後等デイサービス研修会事業所連絡会内容検討 ③ 松戸子育てフェスティバル役割分担

【成果】

① 早期相談について

事業所の困り事として、相談が入った際にどこの機関につなげたら適切なのかサービスや制度の理解や周知がされていないため引き起こされている課題がある。現状を変えていくために、支援者側が活用できる早期相談支援マップの検討をすることとなり、現在は相談業務を行う各機関の体制や流れについて把握中であり、今年度中の案作成を目指している。

② 児童発達支援・放課後等デイサービスガイドブックについて

昨年度に引き続きガイドブックの作成を検討。今年度は、昨年度より意見に多く挙がっていた児童発達支援事業所の事業所ガイドブックの作成も視野に入れている。前回のフォーマットを改定し、すでに各事業所へメールにて送付を行った。平成29年7月末をフォーマットの提出期限とし、事務局で取りまとめをして今年の10月を完成目標としている。

※添付資料（参考） 平成28年度版松戸市放課後等デイサービス事業所ガイドブック

【課題】

① 放課後等デイサービス連絡協議会について

現在、松戸市では、放課後等デイサービス各事業所での困り感や地域ニーズ等を共有する場がない。そのため、今年度中にこども部会主催で研修会を開催し、今後は自主的かつ定期的に開催してもらえるよう市でサポートを行っていく。

研修会の内容としては、松戸市の利用実績、法律や制度等を行政から説明し、放課後等デイサービスのガイドラインの各事業所の取組み状況を共有していく予定。

② 松戸市子育てフェスティバルについて

毎年開催されている上記イベントに、主催の実行委員会として障害福祉課も参加している。

子育てフェスティバルにどのような形で参加すれば、障害のある子どもたちが、

健常児やその親たちと交流のできる場の提供として活用できるか検討するべきではとの提案があった。

まずは、今年度は、部会員が子育てフェスティバルの内容を把握することを目標とする。年に4回開催される実行委員会に障害福祉課が参加してこども部会の意見を反映させ、次年度へのブース参加を検討していく。